

消火器ボックス 通常3万円が145万円

北区工事で過大見積もりか

東京都北区が進めている特別養護老人ホームの工事で、通常は3万円程度で買える消火器ボックスを145万円の単価で見積もり、入札を行っていたことが分かった。ほかにも駐車場の白線引きやアスファルト舗装などで、極めて高額な単価を見積もりに使っていた疑いも浮上。区は見積もりが妥当だったかどうか、検証する方針を示した。

区が検証へ

(消費税相当額込み)で契約。現在、工事が行われている。設計事務所が建築資材や消火器ボックスなどの単価を積算し、区がそれに基づき入札予定価格を設定した。

高額な単価については、

によると、145万円の消火器ボックスは壁への埋め込み型で、26カ所に設置するとし、計3770万円となっている。大きさや設置方法などで費用は変わるが、東京都の工事設計単価表では都営住宅用のステンレス製の消火器収容箱が2万6800円。北区の工事より格段に安価に抑えられている。

さらに今回は、駐車場に計67・5坪の白線を引く工事は約674万円と積算され、1坪あたりの単価は約10万円に上った。駐車場のアスファルト舗装(1100平方メートル)は1億1千万円で、1平方メートルあたり10万円だった。

この工事は、同区立の特別養護老人ホーム「桐ヶ丘やまぶき荘」の大規模改修で、昨年12月までに建設や給排水、空調など5件の入札をし、予定価格計約42億1千万円に対し、落札した4社が計約40億3千万円

高額の単価については、今月15日の区議会本会議で、佐藤司議員(れいわ所属)が質問し、区側は具体的な価格に触れず「単純な単価比較で妥当性を判断するのは難しいが、検証する」などと答弁した。

佐藤氏が入手した内訳書によると、区側はこれまでの議会

区は業者側へのヒアリングをした上で、参加条件を

昨夏入札不調 参加条件・価格見直し

「桐ヶ丘やまぶき荘」の大規模改修工事の入札は、

建設共同企業体が8億円で落札した。

一方で「建築」「エレベーター」「給排水設備」の

3工事が不調になった。参加した業者が少なかつたこと

区は業者側へのヒアリングをした上で、参加条件を

区の見直しを経て、昨年8月の入札で、工事5件のうち「空調」をアネス(北区)が約6億8千万円で、

「電気工事」を恒栄・佐藤

区は業者側へのヒアリングをした上で、参加条件を

区は業者側へのヒアリングをした上で、参加条件を



大規模改修工事が進む特別養護老人ホーム「桐ヶ丘やまぶき荘」(東京都北区)

「電気工事」を恒栄・佐藤

区は業者側へのヒアリングをした上で、参加条件を

区は業者側へのヒアリングをした上で、参加条件を

区は業者側へのヒアリングをした上で、参加条件を